

### 1 題材名 はっくつ！七まわりづかこふんをまもる、ふしぎな〇〇

### 2 題材について

発掘とは、土の中に埋まっているものを掘りおこすという意味である。見えない何かを掘り出すとき、そこにうずもれたものが現れる瞬間まで高揚感に浸る。発掘する場所が古墳という特別な場所であるならなおさらである。古墳とは豪族の墓であり、そこには墓を守る数々の埴輪や呪術品、宝物などが埋葬されたという。発掘されたものからは、当時の衣服や髪形、道具や建築様式などが随所に見られる。数千年前と現代を結ぶタイムトンネルの様な場所ともいえるだろう。このように、古墳や埋蔵物には、計り知れない魅力がある。本校は、埋蔵文化財調査センターや大覚寺山古墳が近くにあり、歴史を身近に感じられる地区にある。また、校庭には「七廻塚古墳」があり、出土品は市の指定文化財として認定されている。本題材は、その古墳を守る不思議な〇〇を彫塑で表現していくものである。

本題材は新学習指導要領の目標（1）「対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。」及び（2）「造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。」を受けて設定している。また、この目標を受け、内容A表現の（1）イ「絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付けることや、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えること。」となっている。「七廻塚古墳を守る不思議な〇〇」を想像しながら粘土の形を様々に変化させていけば、一人一人が思いを深め、自分なりの形を追求していけるのではないかと考える。粘土にはすぐれた可塑性があり、古くから彫塑などの造形に多く用いられてきた。柔らかく扱いやすい土粘土を実際に手で触り、その感触や冷たさを感じ取りながら様々に形を変化させる活動は、児童にとって楽しい活動になるだろう。

本題材は、本校の立地を生かし、「七廻塚古墳から不思議なものがバラバラになって出土した。」という設定とした。まずは自由な発想で様々な形の粘土の塊をつくる。そして、紙芝居を使って本題材の設定について児童に伝える。この土地を守ってくれている〇〇を、昔の人が粘土で置物にし、古墳に埋蔵した。昔の人は一体何を象って古墳に埋蔵したのか。不思議な粘土を様々に組み合わせながら「古墳を守る不思議な〇〇」をイメージ化していく。

本学級の児童は大変落ち着いている。また、友達の頑張りを認めてあげる優しさをもっている。図画工作の学習に関しても、友達の作品を見て「すごいね。」「上手だね。」と積極的に伝え合っている。一方で、2年生という発達段階上まだまだ「個人」が主体であり、友達との関わりによって、自分自身の発想や構想をより良くしていこうという感覚は薄い。自分の中で「これで終わり。」と考えると、さらに工夫していこうという気持ちまで至らない。粘土にはすぐれた可塑性がある。その特性を生かし、友達の自由な発想で作った塊について情報交換を行っていけば、「いいな。」と思ったことを自分

の作品に取り入れ、様々に形を変えていくことができると考える。「七廻塚古墳」という身近にあるものをテーマとし、多様な表現方法を試しながら自分の思いを十分に表現できるようにしていきたい。

### 3 題材の目標

| (1) 知識・技能   | (2) 思考・判断・表現  | (3) 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>粘土を握ったり、握った粘土の形から思い付いたものを作ったりしながら、触った感じや色々な形などに気付く。</li> <li>粘土に十分に慣れるとともに、手や体全体の感触などを働かせ、表し方を工夫して表す。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>粘土を握った形から自分の表したいものを思いついたり、つくりながら新しい形を考えたりすることができる。</li> <li>自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方について感じ取ることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>握った粘土の形から、思い付いたものをつくる学習活動に取り組み、つくり出す喜びを味わう。</li> </ul> |

### 4 指導計画（6時間扱い）

- 粘土と触れ合い、切ったりねじったり握ったりと様々な表現方法を試す。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 古墳を守る○○についての創作文を聞き、自分たちが握った形が何に見えるかイメージを広げる。  
(中間鑑賞会)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 自分が表したい不思議な○○のイメージを広げながら、立体に表す。・・・・・・・・・・(本時：2／2) 2
- 七廻塚古墳の周りで発掘写真を撮り、発見者カードを書く。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 発掘写真と発見者カードを鑑賞する。・・ 1

### 5 材料と用具

| 材料  | 用具  |
|-----|---|
| 土粘土 | 粘土べら かきべら 粘土板 霧吹き 雑巾<br>ビニール袋 木の枝や木の実など バケツ |

### 6 研究の視点

自分なりの主題を持ち、思いを深める表現活動 ～多様な表現方法～

「七廻塚古墳を守る不思議な○○を想像しながらつくろう。」と投げかけても、児童は何をどう作ればよいか分からず、戸惑うことが予想される。そこで、以下の3点の手立てを講じる。

#### ① 日常の取り組みの工夫

朝の読書の時間や図書の時間に、擬態をする生き物などの本の読み聞かせをしたり、不思議な形の植物や動物、魚などの写真を紹介したりしていく。植物はこうあるべきだ、魚はこうあるべきだ、といった固定概念を崩す不思議な生き物に普段から触れていくことで、「不思議な○○」の自由な発想につなげていきたい。

## ② イメージを膨らませるための工夫

「ふしぎな〇〇」についてのイメージを膨らませるために、本題材ではいろいろに握った形から発想を広げさせていく。

まずは、粘土を様々な形に変化させる試しの時間を十分に確保する。粘土をいくつかの塊に分けて丸める「まるまるタイム」から始め、粘土の塊をとにかくつまみ出す「とげとげタイム」、とにかくのばしてひねってみる「ねじねじタイム」、様々な道具で模様をつける「おしおしタイム」など、「〇〇タイム」と称して、これまでに体験したことのない方法を十分に体験させる。その都度できた形を写真に収めて掲示していくが、気に入った形があればいくつか残してもよいこととする。最後に、残った大きな粘土の塊を握る「にぎにぎタイム」を行い、この「にぎにぎタイム」でできた作品をもとにして「七廻塚古墳を守る不思議な〇〇」をつくっていく。

中間鑑賞会では、「にぎにぎタイム」でできたいろいろな形が何に見えるか、見立て遊びをする。様々な表現方法を体験した上で、握ってできた形について見立て遊びをすれば、「古墳を守る不思議な〇〇」のイメージがより膨らませやすくなるのではないかと考える。

## ③ テーマ設定の工夫

古代日本では自然物には生物も無生物も精霊が宿っていると信じられ、古事記や風土記などの古代文献には、葉、野、木、水、火、潮などの精霊の名が記されている。そこで、この地域の人々が「この土地を守ってくれている〇〇を粘土で置物にして七廻塚古墳に埋蔵した。」という創作文を、紙芝居で紹介する。「昔の人が作った置物がバラバラになって発掘された。ところどころ部品が欠けているので復元してほしい。」と投げかけ、「にぎにぎタイム」で作った握った形を中心に「古墳を守る不思議な〇〇」を製作させていく。試しの時間で作った粘土の塊は「欠けている部品」として扱い、写真を掲示しておく。掲示されている写真から面白い形を発見したら、それを模倣して作っても良いこととする。

作品が出来上がった後は、発掘写真を撮り、発見者カードを書かせる。紙芝居の際に予告することで、自分の作品をより良くしたいという気持ちと高揚感を育んでいきたい。

## 7 本時の指導

### (1) 目標

○握ってできた粘土の形から自分の表したいものを思い付いたり、つくりながら新しい形を考えたりすることができる。  
(思考・判断・表現)

○手や指の感覚を働かせながら、つまみ出し方やひねり出し方などを工夫してつくることができる。  
(知識・技能)

### (2) 展開 (4/6)

| 学習活動と内容  | 教師の支援と評価 (◇)          | 資料                    |
|--|-----------------------|-----------------------|
| 1 前時の作品を紹介する。<br>・ぐねぐねした形が面白い。<br>・口が大きくて楽しいね。 | ○前時に作った作品や写真をいくつか見せる。 | ・前時に作った作品の写真と前時に作った作品 |
| 2 本時のめあてをつかむ。                                  | ○前時の作品を土台にして、自分のイメージ  |                       |

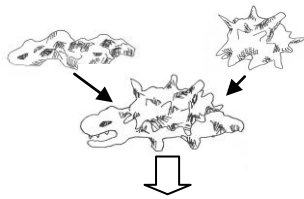
- ・しぜんをまもる生きものをつくりたいから、はっぱみたいな形をいれようかな。
- ・やさしい気持ちをまもる生きものにしたいから、わらっている目をつくろう。

に合った表現方法を付け足していくことを確認する。

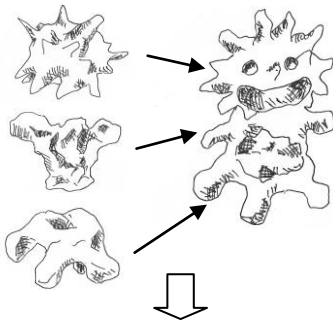
- ・目や口を工夫すると表情が出ることを教師が実演で伝える。

何をまもっているのかイメージしながら、もっとふしぎな〇〇にしよう。

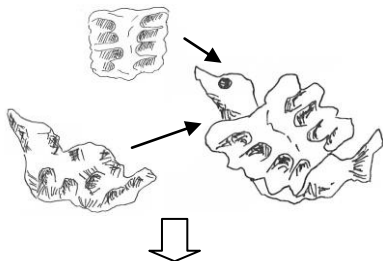
- 3 作品に手を加えたり、粘土を付け足したりして、工夫して「ふしぎな〇〇」を作る。



- ・ひれをもっと大きくして、スイスイおよげる水のかみさまにしよう。



- ・たいようみたくに見えてきたから、天気をまもる生きものにしよう。おなかにもたいようのマークをつけようかな。



- ・はねのように見えてきたから、そらをとぶさかなにしようかな。はねをもっと大きくして、

○道具コーナーを作り、様々な道具を自由に使用させる。

○実態に応じてアドバイスをする。

- ・形が気に入らなかったら、形をいろいろに変えたりしても良いことを伝える。
- ・耐久性を高めるため、つまみ出しやひねり出しを奨励する。粘土を付け足したい場合は、どべを接着剤のように使わせ、接合部分をしっかりとさせる。
- ・イメージできない児童には、掲示物の中からやってみたい表現方法を選ばせる。

○製作中は手を洗わず、濡れタオルで拭かせる。

○活動中に粘土が細かく散らばってしまう場合は、手で拾わず塊につけて集めさせる。

○製作中に粘土が乾いてひび割れを起こさないよう、各テーブルに霧吹きを置いておく。教師は声掛けの際に霧吹きで水分を足していく。

◇つくりながら新しい形を考えている。

(思考・判断・表現)

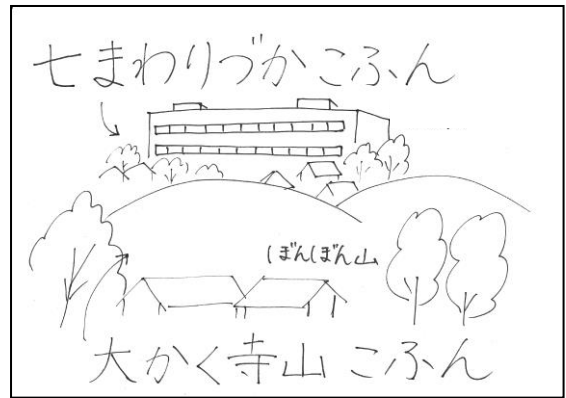
◇握り方、つまみ出し方、のばし方などを工夫してつくっている。(知識・技能)

- ・かきべら
- ・粘土べら
- ・木の枝や木の实など
- ・粘土板
- ・雑巾
- ・バケツ
- ・どべ
- ・霧吹き

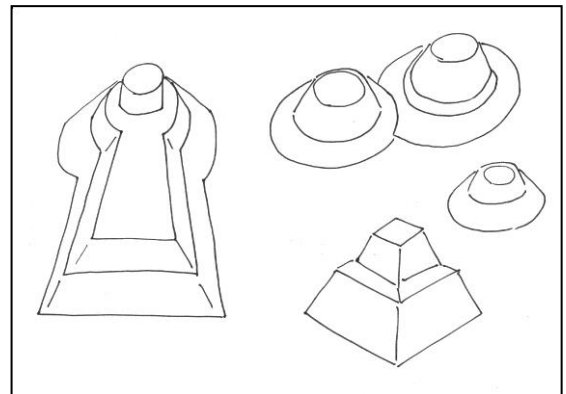
|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>空も水もまもろう。</p> <p>4 自分や友達作品をグループで見合い、全体で感想を伝え合う。</p> <p>5 後片付けを行う。</p> | <p>○友達作品のどんなところが面白いかを短時間で見て伝え合わせる。</p> <p>○全体で感想を発表させる。</p> <p>○作品が未完成の場合は、濡れタオルをかぶせビニール袋に入れさせる。</p> <p>○流し場の桶で粘土を落としてから手を洗わせる。</p> |  |
|--|---|--|

## 自分なりのイメージを持たせるための資料① 紙芝居

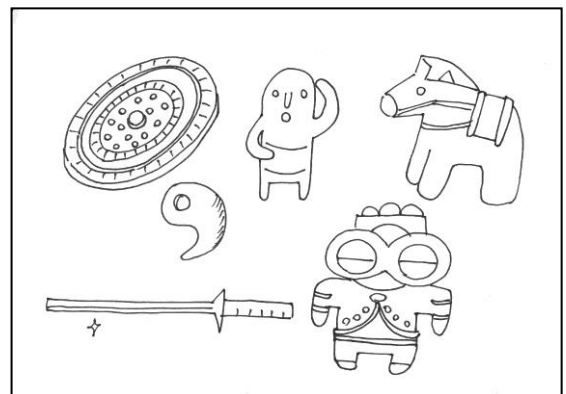
- ① みなさん、去年公園探検でぼんぼん山に行きましたね。ぼんぼん山は、正式には「大覚寺山古墳」といいます。じつは、生浜東小学校にも古墳があります。サツマイモ畑の向こうに看板があるのを知っていますか。「七廻塚古墳」という古墳です。



- ② 古墳とは、昔この土地を治めていた人のお墓のことです。その人が亡くなった時に、大きな古墳を作って、その中に眠ってもらったのです。古墳にはいろいろな形があります。七廻塚古墳は丸い形、大覚寺山古墳は丸を二つ並べたような形です。



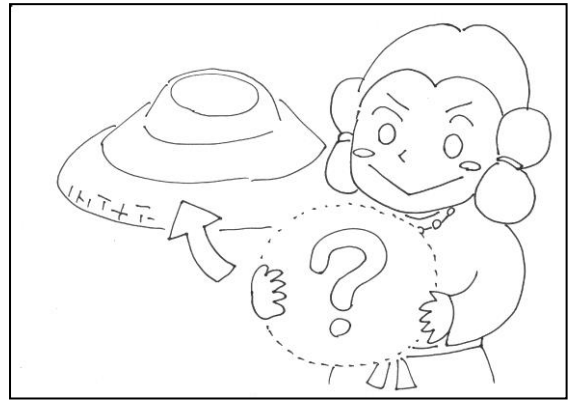
- ③ 古墳には、亡くなった方と一緒に色々なものが一緒に埋められています。亡くなった方が寂しくないように、とか、亡くなった方の力を表しているとか、いろいろな説があります。七廻塚古墳からも、鏡や勾玉、剣などが発掘されました。埋蔵文化財センターにあるので、町探検で見せてもらった人たちもいますね。



- ④ さて、みなさんが校庭で遊んでいるときに、何やらふしぎな粘土の塊を見つけました。どうやら、七廻塚古墳に埋められていたものが出てきたみたいです。それはそれは、不思議な形をしています。



- ⑤ これは、きっと、七廻塚古墳を作った時に、大昔の人が作って埋めたものかもしれません！！これは大発見です！！



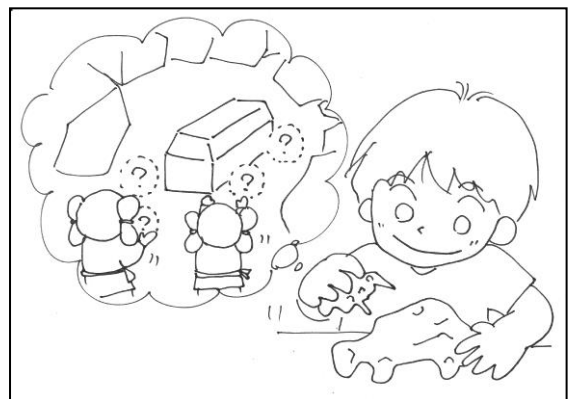
- ⑥ 昔は、動物や植物の生きものだけでなく、水や火などの生きていないものにも、全て精霊が宿っていると考えられていました。



- ⑦ 「自然豊かでありますように。」とか、「きれいな川がこれからも続きますように。」とか、「生き物がたくさん住みますように。」とか、「人々がケンカをせずに過ごせますように。」とか、昔の人が、「この土地がこうなってほしい。」という願いを込めたのでしょ。この置物を古墳の中に一緒に入れることで、亡くなった人もさみしくなかったかもしれません。不思議な不思議な生きものかな。不思議な不思議な植物かな。はたまた、謎の形かも。



- ⑧ 残念ながら、完璧な形で発掘されませんでした。ところどころ欠けているところがあったり、バラバラになってしまったりしています。さあ、みなさん！不思議な粘土の塊はもう持っていますね。その粘土の塊をいろいろにくっつけたり、足りないところを付け足したりして、昔の人が作った「七廻塚古墳を守る不思議な〇〇」を復元してみましよう！



# ふしぎな かけらを 見つけたよ

はっ見しや

名前

※にぎにぎタイムでできた写真をあとから貼る

| 名前 | これは何だろう       |
|----|---------------|
|    | (例) しょくぶつみたい  |
|    | (例) サメみたいに見える |
|    |               |
|    |               |
|    |               |
|    |               |
|    |               |
|    |               |



# 七まわりづかこふんをまもる ふしぎな○○

※ふくげんしたもの名前

(例) きれいな水をまもる ふしぎなさかなのかみさま

※不思議な○○の写真載せる

※ふくげん者の  
写真

ふくげんしゃ

名前

※発見者が考える、この「不思議な○○」の特徴と、見つけた時の感想を書かせる。

(例)

これは、むかしの人が、きれいな水をまもりたいと思ってつくったものだと思います。さかなのようなうろこがあって、大きな口で水のごれをたべてくれると思います。

ふくげんしたとき、とてもきれいだなと思いました。